

学校だより

令和2年8月25日



第5号

TEL241-2605

甲府市立大里小学校 文責:長谷川和典

## 気持ち新たに2学期がスタート

～子どもたちの元気な顔がもどってきました～

17日間の夏休みが終わり、8/18の始業式には、元気な顔がもどってきました。この休みを、健康で安全に過ごすことができた証です。ご家族の皆さん、地域の皆さん、子供たちを見守りご指導いただきありがとうございました。短い夏休みではありましたが、きっと、身体も心も一回り大きくなったことでしょう。

始業式では、次のような話を子供たちにしました。

～略～ 今年の夏休みはいつもと違いました。毎年行われている育成会のラジオ体操や球技会が中止。地区の夏祭りも中止。学校のプールもなければ海水浴場も閉鎖。旅行も自由に行けない。新型コロナウイルス感染症の影響がいろいろなところに出ていました。この夏休み、我慢することがあったという人がたくさんいるでしょう。しかし、外に自由に出られない分、遠くに出かけられない分、「家でじっくり何かできた」「家族と一緒に過ごせた」と前向きに考えることもできます。終業式にもお話ししましたが、今は皆さんの安全と健康が第一です。自由に遊んだり大きな声を出して話したりできるのはまだ先のようにです。新型コロナウイルス感染症の感染者が広がっている今の状況では、1学期と同じように、マスクをして生活すること、手洗いをしっかりすること、そして3密を避けながら生活することはこれからも続けていく必要があります。～略～

今日から始まる2学期は、1年間で最も長い学期です。いろいろな活動や勉強を通して、一人一人が大きく成長できる学期でもあります。10月の運動会を始め、陸上記録会や修学旅行、林間学校、秋の校外学習など、たくさんの大きな行事が予定されています。たとえ今できることに限りがあっても、こうした一つ一つのことにめあてを持って、日頃から学習してきたことを生かして、最後まで根気強く取り組むことで、皆さん一人一人が大きく成長することができます。そして、それが素晴らしい

思い出をたくさん作る事につながります。

コロナ禍の厳しい状況にありますが、全校で力を合わせて、素晴らしい2学期になるように頑張りましょう。

日々成長の過程にある子供たちにとって、めざすものがあるということはとても大事なことです。そして、それを家族や先生、友達など周りの人と共有しておき、時には褒め、時には励まし、時には気持ちにより添いながら支えることで本人のエネルギーとなり、努力につながるのだと思います。めあてが達成できますよう、ご家庭での応援もよろしくお願いいたします。



← 一年生



← 二年生



← 三年生



← 四年生



始業式はTV放送で行いました。その後の学級指導の時間、夏休みに取り組んだ作品を提出している姿が多くの教室で見られました。

短い休みの間にも、子供たちの頑張りがありました！

## 新たに2名の教職員が配置されました！

新型コロナウイルス感染症の感染対策の強化を図りつつ、子供たちの学びの保障をサポートするため、2学期から新たに2名の先生が本校に勤務することになりました。担任の先生方と共に授業に入り、学習指導にあたるだけでなく、給食や清掃活動など一緒過ごす中で、子供たちの学校生活全般について指導・支援することになります。

どうぞよろしくお願いいたします。

学習指導員：仙洞田春実

スクールサポートスタッフ：大勝麻由子



## 子どもたちは こうして生き方を学びます

今の世の中、ものは豊かになったけど、子育てでは難しくなっているという話を聞いたことがあります。実際、子育て真っ最中の保護者から、「子育てに難しさを感じる」と相談されたこともあります。決して正解が一つではない子育て。自分のことを振り返っても、大いに悩んだ時があったなと、今は懐かしく思い出されます。

見出しの「子供たちはこうして生き方を学びます」は、『子供が育つ魔法の言葉』ドロシー・ロー・ノルト/レイチャル・ハリス著（PHP研究所）より引用しました。この本には、子育てに関する示唆に富んだ多くの言葉が詰められています。その一部を紹介させていただきます。

子供たちは、こうして生き方を学びます。

批判ばかり受けて育った子は、人をけなすようになります。

いがみ合う家庭で育った子は、人と争うようになります。

恐れのある家庭で育った子は、びくびくするようになります。

かわいそうだと哀れんで育てられた子は、

自分は哀れな人間だと思ようになります。

ひやかしを受けて育った子は、はにかみ屋になります。

親が他人に対して嫉妬ばかりしていると、

子供も人を羨むようになります。

侮辱したりけなしたりされて育った子は、

自分に自信が持てなくなります。

励まされて育った子は、自信をもつようになります。

寛大な家庭で育った子は、我慢することを学びます。

褒められて育った子は、感謝することを学びます。

心から受け入れられて育った子は、愛することを学びます。

認められて育った子は、自分が好きになります。

子供の成し遂げたことを認めてあげれば、

目的をもつことの素晴らしさを学びます。

分かち合う家庭で育った子は、思いやりを学びます。

正直な家庭で育った子は、

誠実であることの大切さを学びます。

公明正大な家庭で育った子は、正義を学びます。

優しさと思いやりのある家庭で育った子は、

他人を尊敬することを学びます。

安心できる家庭で育った子は、

自らを信じ、人をも信じられるようになります。

和気あいあいとした家庭で育った子は、

この世の中はいいところだと思えるようになります。



\*第4号（7/27発行）の中で、間違いがありました。

訂正してお詫び申し上げます。【敬称略】

【通学安全委員会】委員長

大矢かおり(4-3) → (5-2)

## 暑さから子供たちを守る！

まだまだ残暑が厳しい中、2学期がスタートしました。熱中症による犠牲者が日々絶えないことから、感染症以上に熱中症にも注意しなければならない状況にあることがわかります。

学校では、暑さ指数をチェックしながら、屋外での活動を制限したり、休けいや水分補給を呼びかける等、随時適切な対応をとるようにしています。

暑さのピークは？ ちょうど低学年の子供たちが下校する時間帯と重なっており、下校時の安全が心配されます。そこで、低学年の子供たちだけで下校させることは避け、状況に応じて、学校に留め置く措置をとることとしました。

3年生以下のご家庭には先日お知らせを配布し連絡済みではありますが、5校時終了時の暑さ指数が31℃を越えることが予想される場合には、低学年の子供たちを下校させず、涼しい教室に待機させ、高学年の下校時刻(15:35)に合わせて下校させるようにしています。



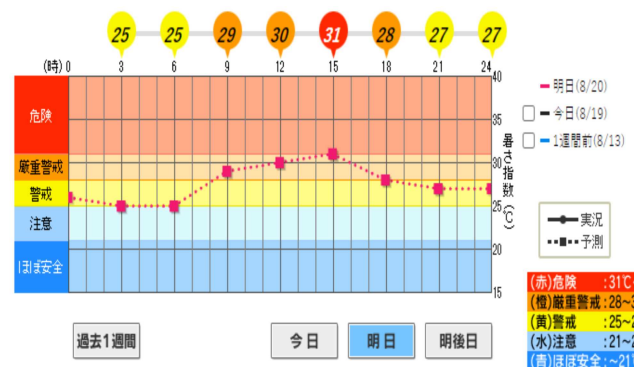
20,21日の二日間、下校時刻を遅らせました



暑さがやわらぐまでの当面の措置ということになりますが、ご理解ご協力をお願いいたします。

(当日の12:30時点で出されている

● 明日の予測 15:00の甲府の暑さ指数の予測を目安として判断しています。)



環境省「熱中症警戒アラート」より